



2020年5月

- [Cisco DNA Spaces の概要](#) (1 ページ)
- [新機能 : 2020年5月](#) (3 ページ)
- [機能強化 : 2020年5月](#) (4 ページ)
- [Cisco DNA Spaces ランタイム](#) (5 ページ)
- [不具合](#) (6 ページ)

Cisco DNA Spaces の概要

Cisco Digital Network Architecture (DNA) Spaces は、既存のワイヤレスや IoT (BLE) インフラストラクチャを活用して、実用的な情報を提供し、Space に組み込まれたアプリケーションでビジネスの成果を推進する強力なロケーションサービスプラットフォームです。

Cisco DNA Spaces からの情報には次が含まれます。

- **Location Analytics** は、時間や位置によるロケーションデータの多角的な分析を行い、ネットワークに接続しているユーザーの行動をより詳細に可視化する機能を提供します。
- **Right Now レポート** は、物理的スペース内のリアルタイムの訪問者数 (Wi-Fi に接続されているデバイスで識別) 、およびこの数を履歴平均と比較する方法を提供します。Right Now レポートでは、使用されている認証方法に基づいて、1人のユーザーに属する複数のデバイスを検出し、それらのデバイスを1人の訪問者としてカウントできます。
- **Business Insights** は、人々がお客様の物理拠点に訪れる頻度と、お客様の事業所に滞在する時間を測定する機能を提供します。このデータは、すべてのロケーションにわたり、月単位で比較評価されます。また、ロケーションのパフォーマンスを経時的、グループ別、または業界別に比較評価する機能も用意されています。
- **Impact Analysis** は、現地イベント、キャンペーン、およびレイアウトの変更が行動に及ぼす影響を測定する機能を提供します。ツールを使用してイベントを作成し、費やした時間と頻度への影響の前、後、および最中などの特定のタイムラインに基づいて、このイベントの影響を測定するのは簡単です。

Cisco DNA Spaces アプリケーションには、キャプティブポータル、ロケーションペルソナ、エンゲージメントなどのカスタマーエクスペリエンス管理アプリが含まれており、物理的な場所

にいる顧客とリアルタイムでつながることができます。追加のアプリケーションには、アセットトラッキングアプリ、IoT サービス（Bluetooth Low Energy（BLE））を管理および設定するためのサービスマネージャ、およびこのデータを抽出して関連付けるか、他のエンタープライズシステムに統合する場合のオープン API フレームワークも含まれます。

Cisco DNA Spaces は、さまざまなロケーションベースのテクノロジーとインテリジェンスを通じてこれらの複数のサービスを利用するための単一のダッシュボードインターフェイスを提供します。Cisco DNA Spaces を使用すると、物理的なビジネス拠点で訪問者をつなぎ、連携することができます。ワークスペース、小売、製造、サービス業、医療、教育、金融など、さまざまな業種のビジネスを対象としています。Cisco DNA Spaces のアセットトラッキングアプリケーションは、オンプレミスのアセットを監視および管理するためのソリューションを提供します。Cisco DNA Spaces は、これらの情報を実行に移すためのさまざまなツールキット、アプリ、および API を提供します。

パートナープログラムを通じて Cisco DNA Spaces を使用すると、さまざまな業界のあらゆるパートナーアプリケーションに企業がアクセスできます。

Cisco DNA Spaces は、Cisco Catalyst、Cisco AireOS、および Cisco Meraki インフラストラクチャと互換性があります。

上記のサービスに加えて、Cisco DNA Spaces アプリの範囲は、世界的なパンデミックである COVID-19 によって生じるビジネス要件を満たすために拡張されました。拡張機能は既存のアプリケーションに基づいて構築されており、COVID-19 の特定の要件を満たすために新しいアプリケーションが追加されています。Impact Analytics、Location Analytics、Behaviour Metrics、Right Now などのアプリの拡張機能を使用すると、ビジネス拠点に及ぼす COVID-19 の影響を分析し、適切なアクションを実行できます。たとえば、現在の場所のデバイス密度に基づいてルールを作成し、その場所にいる人の数が特定の数または密度（人/エリア）を超えた場合に自動的に通知されるようにすることができます。Location Analytics アプリには、エグゼクティブサマリーレポートを組織内の同僚と共有する機能が追加されました。さらに、個人/グループの場所を対象とした COVID-19 ベースの傾向分析を行動メトリクスアプリを使用して実行できるようになり、特定のビジネス拠点を組織全体および特定の業種のビジネス拠点と比較できます。

Cisco DNA Spaces では、影響を受けるデバイスのロケーション履歴とデバイス近接履歴をすばやく確認できる新しい近接レポートアプリが追加されました。ユーザー ID または MAC アドレスを入力するだけで、過去 14 日間の建物内のデバイスの位置と、他のデバイスの近接性に関するレポートが生成されます。このレポートは、共有機能を使用してエクスポートまたは共有できます。同様に、検出と位置特定アプリには、デバイスを特定の数にクラスタ化して、ソーシャルディスタンスのガイドラインに違反している可能性のある領域を確認して報告する機能が追加されました。

このリリースの主な機能は次のとおりです。

- アプリを切り替えるための新しいナビゲーションオプションが追加されました。
- Right Now アプリの新機能 [Density Rule] は、お客様のロケーションの訪問者の密度を追跡します。
- ダッシュボードからリリースノートを表示できるようにプロビジョニングしました。

- Cisco DNA Spaces ダッシュボードで Telenor SMS ゲートウェイに対応するようになりました。
- パスワードの有効期限が切れた後でもパスワードを変更できるようにプロビジョニングしました。
- キャプティブポータルルールの帯域幅制限ではカスタマイズに対応するようになりました。
- すべてのルールで [Filter by App Status] オプションを削除しました。
- Cisco CMX の [Manual Upload] および [Auto Sync] オプションが削除されました。
- ルールのリスト基準が変更され、最後に変更されたライブルールが一番上にリストされるようになりました。
- エンタープライズ キャプティブ ポータルの Radius 認証サポートを有効化（ランタイム）しました。

新機能：2020年5月

Cisco DNA Spaces ダッシュボード

次の新機能が Cisco DNA Spaces ダッシュボードに追加されました。

アプリのメニューを切り替える

ダッシュボードの右上に表示されるアプリランチャ（グリッド）アイコンを使用すると、あるアプリから別のアプリに簡単に移動できるようになりました。以前は、あるアプリから別のアプリに移動するには、Cisco DNA Spaces ホームページに戻る必要がありました。アプリランチャアイコンをクリックすると、ユーザーに対してアクティブ化されたすべての Cisco DNA Spaces アプリが一覧表示されます。

密度ルール

COVID-19 のユースケースの1つに対応するため、Right Now アプリに新機能「密度ルール」が導入され、顧客は物理的なロケーションにいる人の数、または特定の広さのスペースにおいて許可される最大容量を追跡できます。設定された制限を超えたときにアラート/通知を受け取ります。このオプションは、[ACT] ライセンスでのみ使用できます。

[Density Rule] オプションを使用すると、ビジネス拠点の一意のデバイスの数に基づいて、ビジネスユーザーへの通知をトリガーするルールを作成できます。SMS、電子メール、webex を介して、またはトリガー API を使用して通知を送信するように設定できます。

[Right Now] ウィンドウの左上に新しい3行のメニューアイコンが追加され、次のメニュー項目が含まれます。

- [Right Now on WiFi] : Right Now レポートを表示します。

- [Density Rules] : 密度ルールを作成するためのウィンドウを表示します。

リリースノートリンク

ダッシュボード自体から Cisco DNA Spaces のリリースノートにアクセスできるようになりました。ダッシュボードの右上にある [Cisco DNA Spaces Support] のヘルプアイコンをクリックすると、次の2つのオプションが使用可能になります。

- [Latest Release Note] : Cisco DNA Spaces の最新の月刊リリースノートへのリンク。
- [Release Notes History] : Cisco.com のリリースノートのホームページへのリンクです。ここでは、Cisco DNA Spaces のすべての過去のリリースノートが一覧表示されます。

Telenor SMS ゲートウェイのサポート

Cisco DNA Spaces ダッシュボードは、現在 Telenor SMS ゲートウェイをサポートしています。キャプティブポータルアプリの [Settings] > [SMS] で、[Add SMS Gateway] の [SMS Gateway Type] ドロップダウンリストで新しいオプションである [Telenor] を選択できます。

機能強化 : 2020年5月

Cisco DNA Spaces ダッシュボード

Cisco DNA Spaces ダッシュボードには、次の変更が加えられました。

有効期限後のパスワード変更のサポート

Cisco DNA Spaces では、パスワードの有効期限が切れた後もパスワードを変更できるようになりました。ログイン情報を入力して [Continue] ボタンをクリックすると、パスワードを変更するためのポップアップウィンドウが表示され。以前は、パスワードの有効期限が切れている場合、[Forgot Password] オプションを使用してパスワードをリセットする必要がありました。

キャプティブポータルルールのカスタム手動帯域幅

Cisco DNA Spaces では、キャプティブポータルルールで許可される帯域幅を手動で入力できるようになりました。この機能強化を使用すると、事前定義された値ではなく、設定したい正確な帯域幅を指定できます。帯域幅は、KBPS、MBPS、GBPS、または TBPS で指定できます。

[Captive Portal Rule] ウィンドウの [Show Captive Portal] 領域で、[Bandwidth Limit] チェックボックスをオンにすると、[Show Manual Configuration] リンクが [Bandwidth] スライダーの下に表示されます。このリンクをクリックすると、帯域幅を手動で入力するフィールドが表示されます。これで、リンク名が [Show Slider Configuration] に変更され、これを使用してスライダーに戻ることができます。

「アプリのステータス別にフィルタ処理」オプションを削除

プッシュ通知はCisco DNA Spacesによる通知メカニズムとしてサポートされなくなったため、キャプティブポータルルール、エンゲージメントルール、およびロケーションペルソナルルールの [Filter by App Status] オプションは削除されました。

リストの一番上に更新日順に並べ替えられたアクティブ（ライブ）ルール

Cisco DNA ルールページのリストが拡張され、アクティブ（ライブ）ルールと一時停止されたルールが変更日時に基づいて並べ替えられ、それぞれ上部と下部に表示されます。この変更は、キャプティブポータル、エンゲージメント、ロケーションペルソナ、および Right Now アプリの下のルールセクションに適用されます。

Cisco CMX の手動アップロードおよび自動同期オプションを削除

Cisco DNA Spaces は、Cisco CMX バージョン 10.5 以下をサポートしなくなりました。この機能強化をサポートするために、[Setup] > [Wireless Networks] の [Connect your Wireless Network] ウィンドウが変更されました。[Add New] をクリックし、[Cisco AireOS/Catalyst] をクリックすると、以前表示されていた [Via CMX On-Prem] オプションが削除され、[Connect Via CMX Tethering] に置き換えられます。

この機能強化に基づいて：

- Cisco CMX 10 を使用した Cisco DNA Spaces への既存の接続。バージョン 5 以下は引き続き機能します。
- Cisco CMX 10.5 以前を使用して Cisco DNA Spaces との新しい接続を確立することはできません。Cisco CMX 10.6 以降と CMX テザリングを使用する必要があります。

Cisco DNA Spaces ランタイム

Cisco DNA Spaces ランタイムには、次の変更が加えられました。

エンタープライズ キャプティブ ポータルの RADIUS 認証

Cisco DNA Spaces は、エンタープライズ キャプティブ ポータルの RADIUS 認証をサポートするように機能強化されました。この機能強化により、エンタープライズ キャプティブ ポータルのキャプティブポータルルールの次の機能を使用できるようになります。

- シームレスなインターネット プロビジョニング
- インターネットの拒否
- セッション期間と帯域幅の拡張

不具合

不具合では、Cisco DNA Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

各不具合について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各不具合には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNN というパターンで、*x* は任意の文字（a～z）、*N* は任意の数字（0～9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。
- 説明：不具合が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

Cisco Bug Search Tool

Cisco Bug Search Tool（BST）は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決のバグ

表 1: 未解決のバグ

CDETS ID 番号	説明
CSCvq83680	RBAC：特定の場所しかアクセスできない管理ユーザーは、ダッシュボードにログインできない。
CSCvt29202	デフォルトでは、新しく作成されたアカウントの訪問者数と訪問数がデジタル化統計に表示される。
CSCvs79627	Meraki カメラ：ユーザーは非カメラデバイスもインポートできる。
CSCvs97445	ロケーション階層に誤った「ユーザー数」が表示される。
CSCvu43730	パスワードを設定するときは、制限された文字を使用できます。
CSCvu46143	すでに承認された招待状を使用しようとする、適切なエラーメッセージが表示される必要がある。
CSCvp57525	ロケーション分析：滞留時間の値が小さい場合、滞留時間内訳チャートで滞留時間範囲 % が重複している。

CDETS ID 番号	説明
CSCvt93539	訪問数が少ない場合、[Right Now -Visits by floor] セクションで、フロア名がツールチップテキストに表示されない。
CSCvt90496	アプリの切り替えオプションは、一部のアプリでは利用できない。
CSCvu49183	sqft/sqmtr 値に基づく密度ルールは、すべてのロケーションタイプで機能する必要がある。
CSCvu49171	URL スマートリンクが Webex 通知で機能しない。
CSCvt99974	Right Now : [Visitor vs Employee] チャートセクションでは、従業員数の割合が少なく表示される。

修正されたバグ

表 2: 修正されたバグ

CDETS ID 番号	説明
CSCvu39949	EDM が有効なアカウントのロールを編集できない。
CSCvt97747	Firefox ブラウザ : Cisco DNA spaces ダッシュボードに空白の白い画面が表示される。
CSCvu01155	モニタリングセクションのロケーション階層メニューをクリックすると、ホームページにリダイレクトされる。
CSCvt62394	ユーザーは、総面積単位値を選択せずに総面積値を保存することはできない。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。